

I 学校経営上の基本課題

1 地域の特徴

- 本校は鶴岡市の南東部に位置する斎地区のほぼ中央にあり、勝福寺・我老林・斎藤川原・伊勢横内・八ツ興屋・遠賀原・外内島の7地区を学区としている。
- 地域産業は米作・畑作・ハウス栽培等を中心とする農業が中心であるが、農業を専業とする保護者は少なく、多くが勤めに出ている。夫婦共働きの家庭も多いため児童の学童利用率が極めて高い。
- 農業地帯では3世代同居も多いが、市街地に近い地区ほど核家族が多い。特に斎藤川原・外内島地区では新興住宅地化が進み児童数が多い一方、旧来の地区では児童数の減少傾向が進み、地区間の児童数格差が広がっている。
- 市街地周辺の都市化傾向により豊かな自然は遠ざかりつつある。また、農免道路開通に伴い、学校周辺道路の交通量が増大し、登下校における交通安全には十分配慮しなければならない。

2 教育課題のおさえ

【予測困難な時代を生き抜くための変化に対応できる力の育成】

人口減少の加速化、気候変動と自然災害、グローバル化の進展と国際環境の複雑化、VUCAの時代、共生社会・社会的包摂、Society5.0の到来など、私たちを取り巻く社会的状況は非常に複雑で予測困難なものとなっている。そうした時代を生き抜くために、自ら考え、判断し、主体的に行動する力、変化に対応する力が大切になってくる。また、時代の変化を敏感に捉え、失敗してもあきらめず新たな価値を創造する力を育むことが求められている。

【多様な個人を尊重し、包摂社会に寄与する態度・姿勢の育成】

少子化社会の中で、全てにおいて恵まれて育ってきている子どもが多い。また、人間関係の希薄さに加え、実体験や心象体験も少ない中で成長している子どもたちは、具体的な目標を持ち自分を高めようとする意志、他者意識を持って共に力を出し合っ創り出そうとする意志が弱くなってきている。教育活動全般を通して、子どもに夢を持たせ前向きに生きようとする力を醸成する指導が重要である。また、誰一人取り残されず、誰もが学び続けられる学びの機会の充実し、個性を活かし尊重した学びの実現が求められている。

【DXや少子化、地域との連携等、様々な変化に対応した学びの環境整備】

ICTの活用が日常化し、学ぶ場所を自由に選んだり、教育データを活用したりして、リアルな体験と組み合わせた一人一人に合った学びの実現が可能な時代である。社会の変化に対応した学びの環境を整え、きょういくDXの推進、デジタル人材の育成が求められる。また、活力あふれる学校を実現するために、家庭や地域と役割分担をしながら、外部人材の活用など教育環境の整備、指導体制の強化に努めていかなければならない。

【本校児童のよさと伸ばしたい力】

- <良さ> ○素直で真面目 ○心が安定している ○与えられた課題に一生懸命に取り組む
○心優しく思いやりのある子ども ○他と関わって学ぶ力が伸びている
○基礎・基本の定着
- <伸ばしたい力> ▲失敗をおそれず、くじけず、より高い価値あるものを目指す向上心
▲他との関わりの中で生まれる自己有用感と他者理解
▲読解力・活用力・表現力・対話力
▲自己管理の力・規範意識（生活リズム・他者との折り合い・メディアコントロール）
▲心と言葉を育み、学び深める読書の習慣 ▲主体的な学び、家庭学習の更なる質の向上

II 経営方針

- 1 教育活動は人格形成をめざす活動であるという認識に立ち、21世紀を生きる子どもたちに「生きる力」と「確かな学力」を育み、学校教育目標、重点目標の実現に全力であたる。
- 2 集団生活を通じた指導と個のニーズに応じた指導の両輪の中で、一人一人の子どもの能力・特性を生かし、伸ばし、「子どもの成長と幸せ」のために最大限の努力を払う。
- 3 めざす子ども像を児童・教職員、保護者、地域で共有し、「元気」「本気」「笑顔」～学校に関わるすべての人の元気・本気・笑顔があふれる学校～をキーワードに、活力ある学校づくりをめざす。
- 4 保護者や地域に信頼され、心から応援してもらえる「安全で・安定した学校づくり」に全力をあげる。

Ⅲ 経営の重点と具体策

<齋小学校教育目標>

「元気」「本気」「笑顔」があふれる学校

<重点目標>

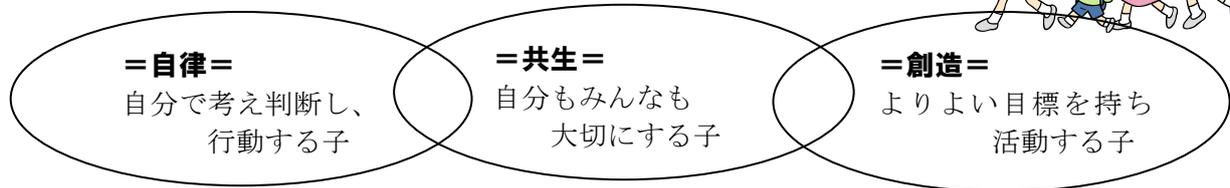
自律・共生・創造を目指し、前向きにチャレンジするたくましい子どもの育成

特色ある教育活動の展開

- ・ 全職員で目標・情報・成果を共有する協働性・同僚性のある職場づくり
- ・ 小中一貫教育の推進によるブロック内の小中、小小連携の充実と9年間を見通した育ちの共有※参照
重点項目①メディアコントロール ②リーダーの育成 ③キャリア教育
- ・ 幼保小連携の充実（架け橋プログラムの検討と作成）
- ・ ねらいを明確にし、PDCAサイクルを大切にした教育課程
- ・ 評価2期制のメリットを活かした学びの連続性を大事にした学習活動の充実
- ・ 子どもに心に寄り添った教育相談活動の日常化と教育相談組織・機能の充実
- ・ 自他の生き方を尊重する「いのちの教育」「キャリア教育」の推進
- ・ 学校研究を核にした担任力の育成（学習指導力・生徒指導力・特別支援教育力）・OJTの充実
- ・ 教職員・児童・保護者・地域関係者による学校評価の実施と開示・改善
- ・ 学校運営協議会との連携・協力（学校・保護者・地域が知恵を出し合い協働しながら子ども達を育む、地域と共にある学校づくり）※R7より3B学校運営協議会の発足

※<第三ブロック 小中一貫教育目標・目指す子ども像>

「自律 共生 創造」



<目指す子どもの姿> ★：令和7年度第三ブロック重点項目

1 「相手意識を持ち、自分もみんなも大切にし、

協働してより良い生活を創る子ども」の育成 **こころ**

◎自律的・主体的に活動できる子どもを育成する。元気・本気

◎他者との関わりの中で自己有用感を高め、社会性を身につけた子どもを育成する。笑顔

豊かな心の育成

- ・ 「自分達の学校は自分達でつくる」自治的で自浄作用のある児童会活動の推進 リーダーの育成★
- ・ 話し合いを通し主体性を育む特別活動
- ・ 規範意識の育成（ルール・マナーの定着・言葉遣い）
- ・ 心を掘り起こし、実践力を育む学級経営・道徳教育の充実
- ・ いじめを許さない学校づくり・不登校の予防（未然防止・早期発見・早期対応・組織的対応）
- ・ 家庭や地域（いつき見守り隊等）と連携したあいさつ運動の推進（あいさつ運動推進校 R6~R7）
- ・ 縦割り活動（清掃や行事等）や他校や地域との交流による、自己有用感の育成、相手意識の醸成

2 「楽しさ・喜びを感じながら自分で考え、判断し、

主体的に学ぶ子ども」の育成 **あたま**

◎知的好奇心にあふれる子どもを育成する。元氣・笑顔

◎主体的・協働的に学ぶよさに気付き深い学びにつなげることができる子どもを育成する。本氣

確かな学びの育成

- ・ 学校研究を核とした授業改善(学力向上・指導力向上・OJTの充実)
- ・ 児童と教師で目指す授業を共に考える「い・つ・きの学び」の日常化
- ・ 学習指導要領の趣旨と内容を踏まえた資質・能力の確実な育成
- ・ キャリア教育の充実（自己理解を深める、外部講師の活用）★
- ・ 地域連携・体験活動の重視
- ・ GIGA活用の推進（一人一端末の有効活用と情報モラルと情報リテラシーの育成）
- ・ 対話力の向上（言語活動の充実・アウトプットの場面）
- ・ 心を育み、学びを深める読書活動の充実
- ・ 基礎基本の定着と活用力を高めるため、授業と連働した家庭学習指導

3 「目標をもって生活し、運動に親しみ、

自ら健康・安全を管理できる子ども」の育成 **からだ**

◎達成感・成就感を味わい、楽しく運動をする子どもを育成する。元氣・笑顔

◎健康・安全への知識と実践力を持つ子どもを育成する。本氣

健やかな体の育成

- ・ 運動特性に触れさせる楽しい教科体育の指導
- ・ めあてをもって取り組む「いつきっ子運動」（持久走・なわとび）の充実
- ・ 主体的に取り組む生活習慣・リズム作りのための家庭との連携、協力
(心身の健康の安定のために早寝・早起き・朝ごはん セーブメディア★への取り組み)
- ・ 命と体を守るための交通安全・生活安全指導の充実
- ・ 危機回避能力の育成をめざした避難訓練や不審者対応訓練の実施
- ・ 清掃の意識向上

すべての活動において、学校に関わるみんなの

本氣・元氣・笑顔があふれるように・・・

- ★子ども達が通いたい学校
- ★保護者が通わせたい学校
- ★地域が元気になる学校
- ★教職員がいきいきと働く学校